



事業番号	11 11 01	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	リニア中央新幹線の建設促進と地域振興事業	部局	建設部	課・室	リニア整備推進局		
		実施期間	S57 ~	E-mail	linear-kyoku@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	③人口の社会増を実現						
総合的に展開する重点政策	3-9 本州中央部広域交流圏の形成						

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ○リニア中央新幹線の建設を推進する。 ○リニア中央新幹線の整備に伴う効果を広く県内に波及させ、地域の振興を図る。 	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> ○JR東海が整備するリニア中央新幹線について、用地取得事務を受託するとともに、発生土の活用や関係法令に基づく手続きへの助言等の調整を実施している。 ○「長野県リニア活用基本構想」(H26.3策定)を踏まえ、リニアの整備効果を広く県内に波及させるため、沿線県との連携に向けた検討を進めている。 ○令和2年度から、リニア開業を見据えた地域振興を地元と一体で推進するため、南信州地域振興局にリニア活用推進担当の副局長を配置するとともに、「企画振興課」を「リニア活用・企画振興課」に再編し、関係市町村等との連携を強化。 	
令和3年度の点検結果・現状分析	<ul style="list-style-type: none"> ○リニア中央新幹線の建設に係る用地取得及び工事等に伴う諸課題(発生土置き場の早期確定、環境対策等)への対応 ○「リニアバレー構想」の実現に向け、地域の多様な主体(市町村、広域連合、経済界等)と連携した取組の具体化 	<p style="text-align: center;">今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○JR東海や関係市町村との連携を密にして、地域に寄り添った調整を進めていくとともに、課題解決に向けて、トップ会談等の機会を通じて、地域への丁寧な対応をJR東海に要請していく。 ○地域の多様な主体と連携し、「リニアバレー構想実現プラン基本方針」に基づくリニア開業を見据えた地域振興の取組を進めていく。

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<p>1 リニア中央新幹線を活用した地域振興の検討</p> <p>(1)沿線県(山梨・岐阜)との広域二次交通や広域観光の連携について共同研究</p> <p>(2)「リニアバレー構想」の実現に向けた官民連携による取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」(座長:知事)の運営 ○自治体職員や経済団体等の構成員を対象とした勉強会の開催 ○「リニアバレー構想実現プラン基本方針」に基づく取組の推進 ・「リニアバレー構想」の実現に取り組む地域の団体等に、課題に応じたアドバイザーを派遣 <p>2 リニア中央新幹線の建設促進及び建設工事に伴う調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リニア中央新幹線の建設を促進するため、沿線都府県や県内各団体と連携した活動を実施 ○建設工事に伴う発生土の活用や環境対策等について、関係市町村やJR東海等との調整を実施 <p>3 リニア中央新幹線の用地取得</p> <ul style="list-style-type: none"> ○JR東海から、郡部(大鹿村、豊丘村、喬木村、阿智村、南木曾町)の用地取得事務の一部を受託 ○本線、変電施設及び非常口の用地取得に向け、権利者との交渉や不動産鑑定等を実施 	 <p>リニア中央新幹線による時間短縮効果 品川ー長野駅:約45分 長野県駅ー名古屋:約27分</p>  <p>リニア中央新幹線建設促進 長野県協議会総会(R3.7.14)</p>
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	<p>1 中央新幹線活用地域振興事業</p> <p>【DX】「ゼロカーボン」リニア開業に向け、「DX」や「ゼロカーボン」の視点を盛り込んだ地域の取組を推進。</p> <p>2 中央新幹線建設促進事業</p> <p>【ゼロカーボン】JR東海に対して、中央新幹線の建設にあたっては、再生可能エネルギーの活用や技術開発等による消費電力の低減など、脱炭素社会の推進に努めることを要請。</p>	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	契約率(契約を締結した権利者の割合)	%	35.3	↑	53.4	↑	75.0	90.0
2								
3								
4								
5								

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	
	前年度繰越	0	0	要求	50,141
当初予算	72,489	69,014	予算案	50,141	
補正予算	-3,310				
合計(A)	69,179	69,014	要求	50,141	
うち一般財源	9,234	9,750	予算案	9,644	
決算額(B)	62,104				
職員数(人)	13.76	15.0		13.16	

設定理由	<p>成果指 1.JR東海から受託した郡部(大鹿村、豊丘村、喬木村、阿智村、南木曾町)の用地取得事務の進捗状況を示す指標として、契約率(契約を締結した権利者の割合)を成果指標に設定</p> <p>目標値 1.これまでの進捗状況等を踏まえ目標値を設定</p>
------	--

予算要求からの主な変更点	要求どおり
--------------	-------

事業番号	11 11 01	事業改善シート (令和4年度実施事業分)	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	リニア中央新幹線の建設促進と地域振興事業		部局	建設部	課・室	リニア整備推進局

細事業 No.	細事業名	R2年度当初予算	R3年度当初予算	R4年度当初予算		
1	中央新幹線活用地域振興事業費	5,254 千円	5,413 千円	要求 予算案	5,383 5,383 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	リニア活用基本構想及びリニアバレー構想の実現に向けた取組の推進	直接	○「リニアバレー構想」の実現に向け、伊那谷自治体会議及び勉強会を開催するとともに、地域の取組主体等にアドバイザーを派遣 ○沿線県(山梨・岐阜)との広域二次交通や広域観光の連携について共同研究			

細事業 No.	細事業名	R2年度当初予算	R3年度当初予算	R4年度当初予算		
2	中央新幹線建設促進事業費	4,234 千円	4,478 千円	要求 予算案	4,402 4,402 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	リニア中央新幹線の建設促進	負担金	○リニア中央新幹線建設促進長野県協議会へ負担金を支出し、沿線都府県や県内各団体との連携による建設促進の活動を実施			
2	リニア中央新幹線の建設に関する調整	直接	○建設工事に伴う発生土の活用や環境対策等について、関係市町村やJR東海等との調整を実施			

細事業 No.	細事業名	R2年度当初予算	R3年度当初予算	R4年度当初予算		
3	中央新幹線用地取得事務費	63,001 千円	59,123 千円	要求 予算案	40,356 40,356 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	中央新幹線用地取得事務費	直接	○JR東海から郡部(大鹿村、豊丘村、喬木村、阿智村、南木曾町)における用地取得事務の一部を受託し、権利者との交渉等を実施			
2	中央新幹線用地測量試験費	直接	○用地取得価格を算定するために、不動産鑑定等を実施			